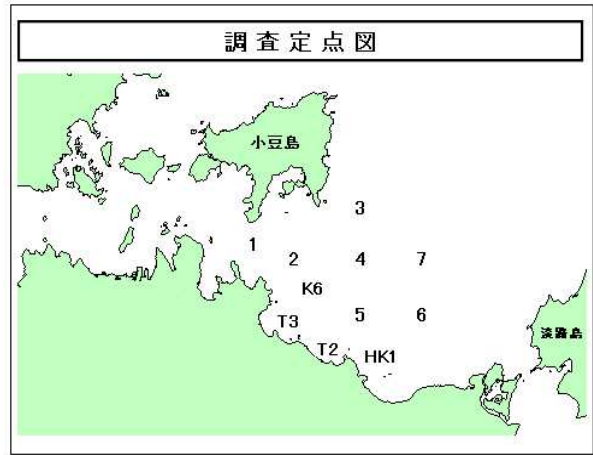


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2017. 8-1号)

香川県水産試験場 龍満
TEL: 087-843-6511

調査日: 2018年8月2日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

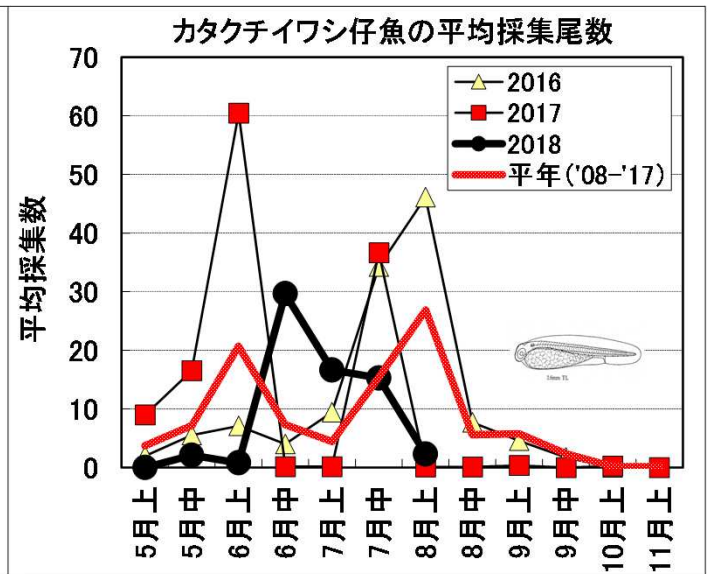
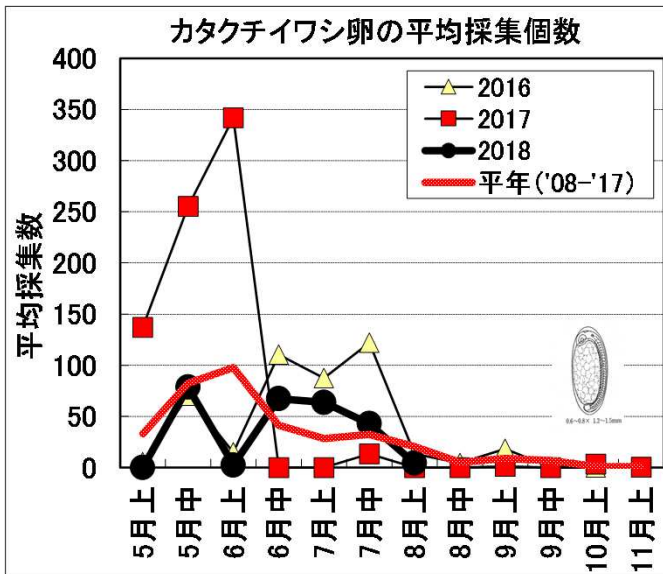


【カタクチ卵】 定点別出現数

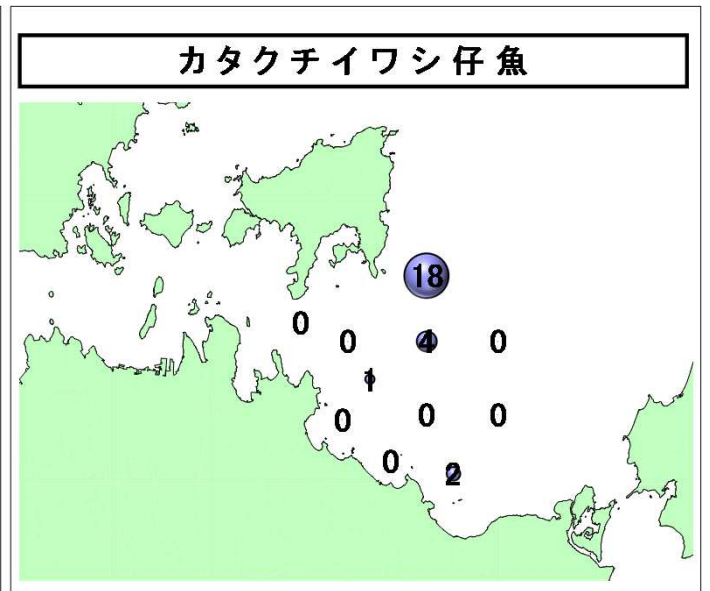
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2016.8.3	0	3	58	17	36	10	22	1	0	0	1	13.5
2017.8.2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0.1
2017.8.2	0	0	20	0	2	0	4	3	0	1	18	4.4

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2016.8.3	32	66	101	94	81	50	10	21	0	0	52	46.1
2017.8.2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1
2017.8.2	0	0	18	4	0	0	0	2	0	0	1	2.3



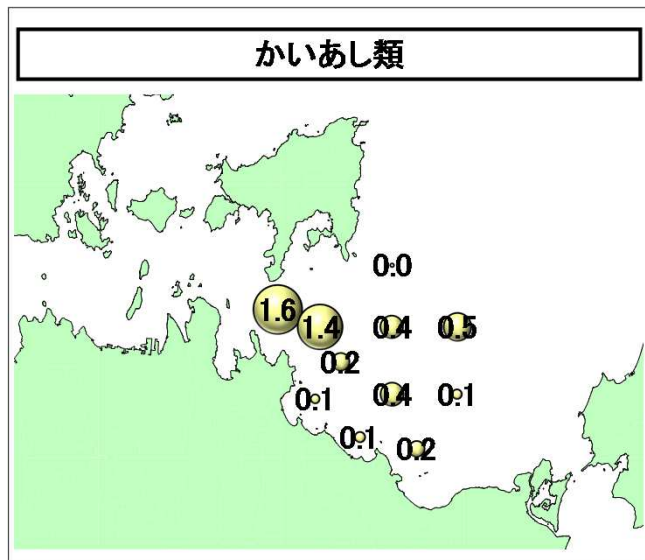
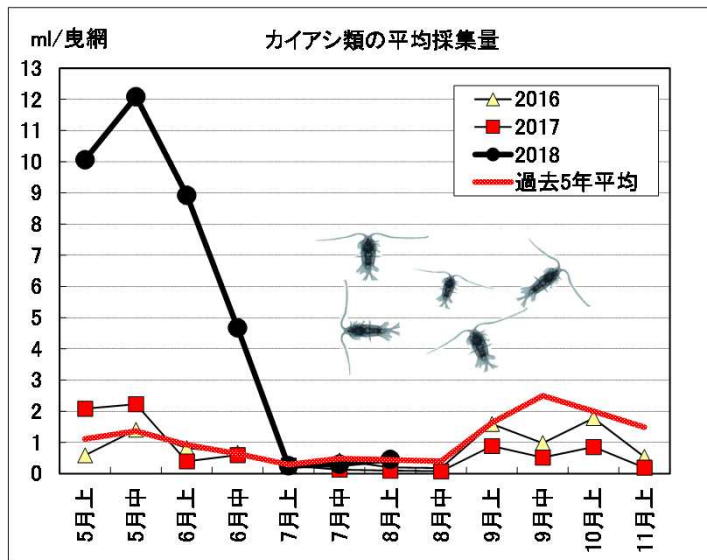
* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



播磨灘11定点における卵、仔魚の平均出現数はそれぞれ約4個、約2尾と平年より少なく、所々に散見される状況ですが、この時期にはほとんど見られなくなった前年よりは多く出現しました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、平年並みの出現状況ですが、灘部には少ない状況です。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は8月17日に実施予定です。